

連絡乗車券について

中等 Y.Y

※連絡運輸の改定により現在では発売できない乗車券が掲載されています。あらかじめご了承ください。

1. 連絡乗車券とは

連絡乗車券とは、異なる複数の運輸機関(船や自動車船を含む)を経由する場合に運輸機関ごとに定められた契約に基づいて発売される乗車券のことである。

連絡乗車券は大きく分けて私鉄⇄私鉄、私鉄⇄JR だ。(ほかにもあるがここでは紹介しない)

私鉄⇄私鉄短距離の場合は小さいエドモンソン券での発行(画像 1)が多い。

(画像 1) ↓エドモンソン券 郡山駅 171 発行 発行券売機型番不明



(連絡乗車券ではありません)

ただし会社によっては(画像 2)のようにエドモンソン券で発券されない場合がある。

↓(画像 2)MSR よみうりランド前 51 発行 小田急電鉄→東京メトロの連絡乗車券



JR⇄私鉄の場合は JR のマルス券(次ページ画像 5)のような場合と次ページ画像 3 のような短距離券売機で発売される場合がある。

しかし会社によっては独自の端末で発売する場合もある。(次ページ画像 4)



←画像 3



←画像 4

券は自動券売機で発券できない場合が多いのでその時は係員が端末を操作して発売(画像 5)、もしくは手書きの補充券(次ページ画像 6)で発売する場合がある。



↑画像 5 新宿駅 F6 MR52 型端末発行
金額入力—自社区間入力にて発売
小田急線登戸から JR 登戸までの連絡乗車券

事由	申 冊 No 0241044
領 収 額 Amount Received	¥ 1 8 円
原 月 日 種 別 号 出 札 号	券 経 由 ()
収 受 文 字 種 別 号	変 更 区 間 経 由 ()
人 員 大 人 Adult 小 児 Child 学 割 発 行 日 共 同 有 効 日 間 有 効 日 数 Days	指 定 月 日 兼 車 駅 発 時 分 定 車 番 席
記 事	大井川鐵道 千原 駅 発 行
入 録 ・ 途 中 下 車 印	

←画像 6(補充券の例でこれは連絡乗車券ではない)

2. 割引される連絡乗車券

連絡乗車券のうち、運輸機関の契約に基づいて基本的に短距離の連絡乗車券が割引される場合がある。

乗 車 券	
武蔵中原 → 新 丸 子	
経由:南武・武蔵小杉 4月16日当日限り有効 下車前迄無効	大井川鐵道 武蔵小杉 駅 発 行 4.16 武蔵中原 新 丸 子 武蔵小杉
2023-4-16 武蔵中原駅 F1 発行 50194-01 (2-)	使用 ¥280

例 1
金額入力一自社区間入力
にて発売
武蔵中原F1 発行

JR の連絡乗車券は近距離券売機かマルス端末によって発売される。

この場合、武蔵中原→武蔵小杉 150 円・武蔵小杉→新丸子 140 円と別々に購入すると、合計で 290 円となるが、10 円割引されて発売金額 280 円となる。

旅客営業規則第 188 条に基づいて券面には「割引」印字が必要だが、マルス券には記載されていない。しかしマルス端末では金額入寮発売時、臨時割引という扱いで「鉄社割」「鉄割」「社割」を印字できる。



例2

よみうりランド前駅 102 発行

この場合も読売ランド前→登戸 170円 登戸→150円区間で合計320円となるが10円割引されて310円で発売されている。

また券面には「割引」と記載されている

3. 割引がつかない連絡乗車券



例)

新横浜駅 MR905(MR-52)発行 読売ランド前から御殿場までの連絡乗車券

特定の区間以外は割引が適用されないので両社の運賃を合算した金額で発売される。なお、割引の有無にかかわらず私鉄→JRの連絡乗車券をJRで買う場合は窓口係員に断られることが多い。

しかし、この場合のように特急ふじさん号特急券と併用(画像7)することによって発売することができる。



↑画像7

この特急券も小田急電鉄と JR 東海をまたぐため、連絡運輸に基づいて発売される。